Engineer プラットフォーム

実行ごとに侵入元の遮断を実証

堅牢化の実行ごとに、予約済みテストアドレスを遮断し、生成されたカーネルルールを読み、必ず実行する後処理で遮断を解除する一連の検証を設け、jailの故障が正常報告ではなく実行失敗になるようにした。

9月 2026

堅牢化の実行ごとに遮断経路を実証

状況. 侵入元遮断がSSHの待ち受けていないポートを対象にしていた問題は修正済みだった。しかし、サービスが動きjailが有効と出ても、遮断がカーネルへ届くかは見えないため、長く残った理由自体は直っていなかった。

課題. サービスの起動から推定せず、毎回の収束で稼働中のルールへ遮断経路を実際に試す必要があった。

行動. 標準が文書用に予約する範囲のアドレスを遮断し、カーネルのパケットフィルターから結果を読み戻し、成否によらず走る後処理で解除するようにした。誰にも属さない予約アドレスなら、失敗で遮断が残っても実在ネットワークを締め出さない。サービス自身の状態はルールなしでも成功を返し得るため、カーネルの読み戻しも不可欠だった。遮断方式は自動検出任せにせず固定し、従来の認証ログがないOSに合わせ、ログ源はdetectとした。誤った方式では、現れないファイルを見て静かに失敗するためだった。

結果. 故障した遮断経路が正常報告を続けず、収束を失敗させるようになった。それが必要な性質だった。毎回数秒を要し、本番のファイアウォールへルールを書いて撤回する介入はある。それでも別の方法の悪さをすでに実証したため、受け入れた。

この経験をお客様のプロジェクトに

「実行ごとに侵入元の遮断を実証」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 障害が小さいうちに知らせる監視とアラートを整え、安定した状態をどれだけ維持できているかを数値で示します。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 実行ごとに侵入元の遮断を実証 — 堅牢化の実行ごとに遮断経路を実証

サービスを見る お問い合わせ →

安全策が機能しなくなったら気づけますか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：セキュリティエンジニア。 関連する分野： インフラ, 自動化・CI/CD, 信頼性・バックアップ, Linux・サーバー, セキュリティ および テスト・品質保証. こちらのサービスも得意としています サイト信頼性・監視, システム管理, セキュリティ・アクセス管理 および AIエージェントのセキュリティ.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

安全策が機能しなくなったら気づけますか？

「実行ごとに侵入元の遮断を実証」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/portfolio/proved-the-intrusion-ban-works-every-run/